

ハビリス

ハビリスの名は、リハビリテーションの語源である、ラテン語の、re(再び)+habilis(適した、ふさわしい)、+ation(状態にする)から採ったものです。

宮崎県身体障害者相談センター

(高次脳機能障がい総合相談支援拠点機関)

〒880-0032 宮崎市霧島1丁目1-2

TEL : (0985) 29-2556(代)

FAX : (0985) 31-3553

http://www.shinsyocenter-miyazaki.com

目次

- ✿ セラピストだより ～地域リハビリテーション訪問相談～
- ✿ 相談窓口案内 ～高次脳機能障がい、乳幼児聴覚相談「ひだまり」～
- ✿ 研修だより「シーティングって大事!!」
- ✿ センターホームページ案内



セラピストだより ～地域リハビリテーション

訪問相談～

身体障害者相談センターでは、地域リハビリテーション推進事業の一環として理学療法士、作業療法士などがリハビリ専門のセラピストが常駐していない県内の福祉施設、福祉作業所等に出向き、日常生活で困っていることや作業内容、補装具等の相談を受けています。昨年、多かった相談内容は次のとおりでした。

- 歩行(杖、歩行器含む)、車椅子練習等の相談
- 起き上がり、移乗などの相談
- 福祉作業所での作業内容の相談
- 補装具(下肢装具、車椅子など)の相談
- 腰痛体操などの職員研修



相談の申し込み方法について

(宮崎県身体障害者相談センターのホームページから)

○トップページの「障がいのことで気になることがあったら」をクリック



○「リハビリテーション訪問相談」をクリック



○【リハビリテーション】のページ内にある「申込書ダウンロード」をクリック



○申込書に必要事項をご記入の上、お申し込みください。



なお、昨年度のリハビリテーション訪問相談の実績は、ホームページに記載してありますので、ぜひご覧下さい。



研修だより

シーティングって大事!!



～国立リハビリテーション学院
「福祉機器専門職員研修会」より～

「すわる」という姿勢は、食事や排泄、学習や就労、乗り物での移動、リラクゼーションなどさまざまな場面に必要なものであり、自然に行われるものです。

この座位姿勢が好ましくない場合には、側弯などの変形、痛み・疲労の他に、褥瘡や呼吸機能・消化機能・排泄機能の低下等が生じます。健常者は自分で楽な姿勢をとることができますが、障がいのある方で座位保持や姿勢変換が困難な方はこれらのような

二次障害を引き起こす可能性が高まり、その後の成長や発達に大きな影響を与えます。

このため、使用目的や身体の状態に合わせて、安全かつ適切なクッション・椅子・車椅子等で座位姿勢を保持できるようにする「シーティング」が重要になります。

近年、このシーティングの重要性が見直され、医療機関において医師を中心に、作業療法士、理学療法士、看護師、ケアマネージャー、福祉用具関連業者等の様々な職種が連携し、よりよい車椅子や座位保持装置選びの提案ができるよう、体制が整えられつつあります。

もし、車椅子の型式選択や姿勢等についてのご相談がありましたら、当センターへお問い合わせください。



身体障害者相談センターのホームページのご案内



身体障害者相談センターでは、ホームページで以下のような情報を提供しています。

(主な内容)

- ・ 身体障害者手帳について
- ・ 補装具について
- ・ 更生医療について
- ・ 高次脳機能障がい者の支援
- ・ 障がいのことで気になることがあったら
- ・ センターの利用について
- ・ スタッフの仕事紹介 など

URLは、 <http://www.shinsyocenter-miyazaki.com> です。ぜひ、ご覧ください。

ひだまり～聴こえとことばの相談～

一般に人は生後1～2歳で言語を獲得しますが、例えば出生時より難聴があるなど耳に異常があると、言語を使つてのコミュニケーションに障がいが生じ、生活上の不便を受けることになります。このため、できるだけ早い時期に診断を受け、音が聴こえる状態にする必要があります。

当センターでは、聴こえやことばについてのご心配をお持ちの方を対象に聴力検査やことばに関する相談、発達状況の検査などを行っています。

聴力検査

乳幼児を対象に種々の検査装置によって、年齢や発達に応じた検査を行っています。特に自分で意思表示のできない時期の乳幼児や発達遅滞のある子どもさんは特別な検査機器〔聴性脳幹反応検査機器（ABR）〕を使って測定しています。

- 3歳半健診でことばの遅れを指摘された
 - 発音がおかしい
 - 呼んでも返事をしない
 - 同じことを何回も聴きかえす
- などの相談で当センターを利用される方が多いです。



心理相談・評価

ご家族の方から子どもさんの様子や生育の経過をうかがい、必要に応じて発達検査、知能検査等を行っています。それらの情報から発達の遅れやさまざまな能力の傾向、発達障がいの傾向があるかどうかを知ることができます。

言語相談・評価

ことばの発達の状態や発音の様子などの相談・検査を行っています。最初にことばの遅れや発音の不明瞭さが聴力の低下から来るものなのか発達のな問題から来るものなのかを調べます。そして、今の子どもさんの状態を説明し、今後の療育に役立てていけるよう、声かけや関わり方についてのアドバイスを行ったり、訓練が必要であれば訓練施設等への紹介も行っています。

- 日時……毎週火曜日 午後1時から午後4時まで
- 場所……宮崎県身体障害者相談センター
(宮崎県総合保健センター5階)
- 内容……聴力検査・発達検査・言語評価

* 相談や検査は無料です。

* 予約制です。事前にご連絡ください

電話 (0985)29-2556





相談窓口案内

～高次脳機能障がい総合相談日を開設しています～

脳血管の病気で入院したり、交通事故などに遭った後、
以前との違いに悩んでいませんか？

新しいことを憶えられない、ミスが多く、集中力が続かなくなった
仕事を手順どおりにできない、指示がなければ行動できない
ちょっとしたことで怒ってしまう、無制限に食べたりお金を使ったりする
前は普通にできていたことなのに、うまくできなくなった など・・・

それはもしかしたら「高次脳機能障がい」かもしれません。

「高次脳機能障がい」に対する総合相談日を下記のとおり開設しています。
相談は無料です。事前予約制ですので、まずは電話でお申し込みください。

○日時

原則として**毎週火曜日** 午前10時から午後4時(事前予約制)

○場所

宮崎県身体障害者相談センター(宮崎県総合保健センター5階)

○申込方法

相談を希望される日の前日までに身体障害者相談センターへ電話でお申し込みください。

電 話……(0985)29-2556

受付時間……月曜から金曜の午前9時から午後4時まで(年末年始・祝祭日を除く)

※予約が重なった場合は、調整させていただくことがあります。

宮崎高次脳機能障がい家族会 あかり

高次脳機能障がいは、外見からはわかりにくく、日常生活や社会生活への適応が困難でありながら周囲の理解が得られずに本人や家族は悩んでいます。

そんな中、家族会では会員同士交流をはかり、自らの経験や知識を伝え合うと共に、障がいについて周囲の理解を深める活動を行っています。

定例会：奇数月の第3土曜日 午後1時30分から午後3時30分

場 所：宮崎県総合保健センター5階 視聴覚室

連絡先：宮崎高次脳機能障がい家族会 あかり 事務局

(有限会社 サン・グロウ内)

電話 (0985)64-9500

URL <http://miyazakikouzinouakari.miyachan.cc/>

